

HOPE



事業管理者あいさつ「フェニックスのように」

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆



新年おめでとうございます。

今、医療の分野、とりわけ公的病院は多くの問題を抱えています。新臨床研修医制度を引き金に始まった医師不足、特に病院勤務医不足は「医療崩壊」という言葉を生み出し、この状態は改善しておりません。それどころか、診療科による医師の偏在が顕著になり、産婦人科、小児科、麻酔科や救急部門など、重労働でリスクの高い診療科が、専門医不足で悲鳴を上げています。最近では外科医希望者の減少も囁かれていて、外科手術待ち期間が延長する時代が来るのではないかと懸念されています。医師に加えて看護師不足も出現しました。手厚い看護を求め、多くの病院が看護師の増員に走った結果です。一方、病院勤務医同様に厳しい労働環境に退職者も少なくなく、

補充がつかない状況です。医師不足対策として、厚生労働省は医学部定員の増加、医師に準ずる医療行為が出来る特定看護師の養成などを考えているようですが、いずれも一朝一夕に成るものではありません。

公的病院、特に自治体病院の課題として、慢性的赤字など経営状態が悪化している施設の多いことが挙げられます。この点に危機感を持つ総務省は、「改革ガイドライン」を掲げて、自治体病院に経営感覚の積極的導入を求めています。自治体病院の地方独立行政法人化、公営企業法全部適用化（当院がそうです）、指定管理者制度化、民営化などはこの流れに沿ったものです。しかし、このような経営形態の変化だけでは、問題が解決するわけではありません。病院を持つ全国の市町村の状況は決して一様ではなく、病院の立地条件、地域の医療ニーズ、ハード・ソフト両面での病院機能、自治体本体の財政状況など千差万別です。この問題を解く方程式はひとつではありません。

私は病院事業管理者に就任した際に、「医療の地産地消」を提唱しました。地域の皆様に、市立芦屋病院という特産品を大いに活用、消費していただきたいという思いから出たものです。そのためには、知的レベル、生活レベルともにわが国でも最上級の地域住民に満足していただける病院作りが求められます。優秀な医師の招聘など医師の増員、リクルートに努め、すいぶん充足してきましたが、今年もさらに改善が見込まれているところです。看護師の質の向上は、各種研修会を通じて行い、現在3名の認定看護師も年内には5名以上に増える予定です。その他コメディカルと呼ばれるスタッフや医療を支えてくれる事務部門も、スペシャリストの育成などを行って参ります。また、芦屋市唯一の公立病院であることを自覚した上で、市民の健康を守るために、地元医師会とも連携して、各種公開講座、「がんフォーラム」、健康教室、市民相談などを開催し、疾病の予防にも尽力して参ります。地域の皆さんには、地元芦屋ブランドの「市立芦屋病院」と指名して、是非ご利用いただけるようお願いします。

市民の代表である芦屋市議会ならびに市当局のご理解を得て、昨年病院の更新築に着工しました。限られた予算の中ではありますが、グリーンでクリーンなエコホスピタル、アメニティとプライバシーに優れたブランド病院、そして何よりも信頼される医療を提供できる病院を目指しています。昨年の市制70周年記念式典で、来賓の方々がその式辞で、「繁栄を誇った芦屋市があの阪神大震災で壊滅的打撃を受けた。しかし、15年間でみごと甦った。」と異口同音に述べられていたのが印象的でした。市立芦屋病院も医療崩壊を乗り越えて、フェニックスの如く羽ばたきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

認定施設のご紹介

当院では、昨年「日本がん治療認定医機構認定研修施設」「日本緩和医療学会認定研修施設」に認定されました!!

昨年11月、当院は日本がん治療認定医機構の認定研修施設になりました。がん治療の認定研修施設とはがん治療認定医を養成するための研修施設であり、認定医としての不可欠な知識、技能、臨床的判断、心構えなどを習得するための環境を提供する必要があります。研修施設であるためには入院、外来、検査施設が整備されている、年間100例以上がん患者を診療している、資格を持った指導医のもとに最新の高度ながん医療を実践しているなど様々な条件が必要となります。当院ではがん治療認定医として小関副病院長と西浦診療局長の2名が在籍しており、芦屋病院のチーム医療を生かして今後もがん治療に関する医療はもちろんのこと、医師の教育にも力を尽くしてまいります。

また、日本緩和医療学会認定研修施設についても平成23年4月1日付けで認定となります。

緩和医療の認定研修施設は緩和ケア専門医の育成を目的とし、認定施設となるには緩和ケアが実践されている、緩和ケアチームが設置され活動しているなどの条件が必要となります。当院では緩和ケア暫定指導医である西浦診療局長を中心に今後も地域の緩和ケア発展の為に努力してまいります。



がんフォーラム 2010 ～ここまで出来ます! 消化器がんの診断と治療～

日時 平成23年1月22日(土) 午後1時30分～午後4時30分

場所 芦屋市民センター ルナ・ホール **★入場無料・どなたでも気軽にお越しください★**

日本人の死因の第一位を占めるがん、その中でも胃がんや大腸がんなどの消化器がんはその多くを占めています。がんフォーラムを通して「がん」への理解を深め、がん医療に関心を持ってください。皆さんのお越しをお待ちしています。

がんフォーラム 2010 コラボレーション企画 休日がん検診を実施します!

当院では「がんフォーラム2010」とのコラボレーション企画として下記のとおり休日がん検診を実施します。早期発見・早期治療のためにもぜひ検診をお受けください。

日時 平成23年2月6日(日) 午後9時～正午 **場所** 市立芦屋病院

	対 象	内 容	料 金
乳がん検診 定員30名	40歳以上の女性	問診、触診 マンモグラフィ	2,000円 (70歳以上無料)
子宮がん検診 定員30名	20歳以上の女性	問診、診察 細胞診検査	1,000円 (70歳以上無料)
胃がんハイリスク検診 定員60名	20歳以上の方	血液検査 (ペプシノゲン検査) ピロリ菌抗体検査	4,500円

乳がん検診・子宮がん検診の
無料クーポン券は
使用されましたか?

使用期限は2月末までとなっています。
ぜひ休日がん検診の際にお使いください。

※乳がん検診、子宮がん検診は平日も実施
しております。

※乳がん検診、子宮がん検診については芦屋市に住民票のある方のみ対象となります。
(市外の方は料金異なります)

★要予約制 市立芦屋病院 医事課検診担当:0797-31-2156(代表)

冬に流行する感染症!予防対策は大丈夫ですか?

感染管理認定看護師 中島 恵実

冬に流行する感染症の王様 (インフルエンザ)

インフルエンザは時に重症化するので小児やご高齢の方は特に注意が必要な病気です。重症化予防には何といてもワクチン接種です。病院では職員のほとんどがワクチン接種を済ませ流行に備えています。

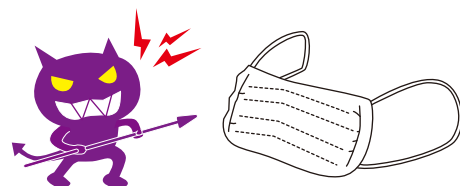
インフルエンザ予防には手洗いとうがいの励行が大切ですが、もうひとつ大切なことがあります。咳や鼻水の症状がある人には移さないために「**咳エチケット**」を実践しましょう。

咳・くしゃみのあるときは、マスクを着けます。

マスクを着けていないときは、ティッシュやハンカチなどで口と鼻をおおい、周りの人から顔をそむけます。

* 症状があり病院受診する際はマスク着用をお願いします。

ティッシュは他の人が触らないようゴミ箱に捨てます。その後すぐに手は石けんで丁寧に洗いましょう。



冬に流行する胃腸炎の王様 (ノロウイルス感染性胃腸炎)

今年は、ノロウイルス感染性胃腸炎の集団感染が多く発生しています。昔はおなかの風邪と言われていました。症状は、人によってさまざまですが突発的に激しい吐き気、嘔吐がおこることが多く、下痢が一日に何十回と続きます。しかし、数回の下痢で終わる人もいて、症状の重さは人によって異なります。また、このウイルスは非常に感染力が強いので、罹った人の家族や周囲の人が二次感染してしまうことが多くあります。

どのように感染するの?

- ・ ウイルスのいる二枚貝(カキ、シジミ、アサリなど)を生食または過熱不十分で食べる。
- ・ 感染している人が調理した物を食べる。
- ・ 感染している人のおう吐物やふん便を処理したときに汚染した環境、手を介してうつる。

感染しないために注意することは?

- ・ 二枚貝はよく加熱して食べる。
症状のある人「ノロウイルスかな?」と思ったら調理しない。
- ・ 排泄後、調理前、外出後、食事前など石鹸を使用し十分に手洗いをする。
- * ノロウイルスの場合、手にすりこむタイプの(アルコール剤)消毒剤の効果は薄い。
ノロウイルスに感染した方のおう吐物や排泄物を無造作に処理しない。
- * 処理方法はインターネットなどに詳しく掲載してあるのでコピーしておくといいいでしょう。

肝臓病教室が変わります!!

これまでも芦屋病院で開催していた肝臓病教室ですが、より多くの皆さんにご参加頂ける様、今年より新たに場所を福祉センターに移して開催致します。

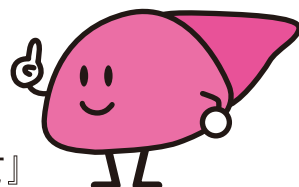
今後も当院の竹田部長、臼井主任医長、北田主任医長を中心に看護師やコメディカルも交えて開催してまいりますのでぜひ興味のある方は気軽にご参加ください。

※福祉センターには芦屋病院の無料バスが便利です。

★ 次回開催は・・・

平成23年2月25日(金)午後2時～午後3時30分 テーマ:『肝臓病検査について』

場所: 芦屋市保健福祉センター会議室1 参加料無料



1月

院内の催し各教室のご案内



芦屋病院 マチネコンサート



テーマ：「レクチャーコンサート」

日 時：1月9日(日) 午後2時30分～午後3時30分

場 所：外来棟5階 待合ホール 黄色いピアノ前

出 演：赤松 林太郎(ピアノ)

糖尿病教室

テーマ：食事体験会 160キロカロリーのティータイム

日 時：1月7日(金) 午後1時30分～午後3時

場 所：南病棟1階 講義室 参加料：500円

問い合わせ：市立芦屋病院 栄養科 ※事前申込み要

市民ギャラリー



テーマ：辻本 久子展 ～彩りのファンタジー～

日 時：1月1日(土)～1月31日(月)

場 所：芦屋病院 5階渡り廊下展示ギャラリー

両親教室

テーマ：お産の経過・あかちゃんのお風呂

日 時：1月8日(土) 午前10時～12時 場所：南病棟1階講義室

場 所：妊娠22週以降の妊婦さんとパートナー(5組10名)

問い合わせ：市立芦屋病院 産婦人科外来(電話は13時以降)

冬の公開講座のご案内

冬の公開講座の開催内容が決まりましたのでお知らせいたします。ぜひお気軽にご参加ください。

場 所：芦屋市民センター401号
T E L：0797-35-0700

参加料
1回：200円

開催日	内 容	講 師
1月29日(土)	動脈硬化によっておこる病気	市立芦屋病院 内科医師 白鹿 正通
2月26日(土)	血管のアンチエイジング	市立芦屋病院 内科医師 金高 大悟
3月12日(土)	新病院建設に向けて	市立芦屋病院 病院長 金山 良男

建替改修工事に伴う放射線機器の一時利用停止について

現在、当院では建替改修工事が進んでおり、1月より新検査棟の工事に着工致します。それに伴いましてMRIやCTなどの放射線機器が下記の期間において使用不可となり、検査を受ける事ができません。ご利用の皆様には大変ご不便をお掛けいたしますが何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、機器の利用停止期間中は他の医療機関にて検査を受けて頂く事ができますのでご安心ください。

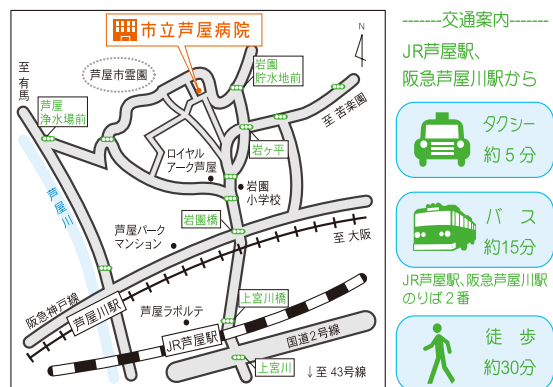
機器停止期間

① C T	平成23年1月7日(金)午後～1月16日(日)
② M R I	平成23年1月14日(金)～1月31日(月)
③ 乳房撮影装置 (マンモグラフィ)	平成23年1月7日(金)午後～1月11日(火)
④ 血管造影撮影装置	平成23年1月15日(土)～1月26日(水)
⑤ 透視撮影装置	平成23年1月8日(土)午後～1月14日(金)


<http://www.ashiya-hosp.com>

市立芦屋病院についてのさらに詳しい情報については、ホームページをご覧ください。

市立芦屋病院ご案内



日本病院機能評価機構 認定施設 (ver 6)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>